



貿易

EVA

✦

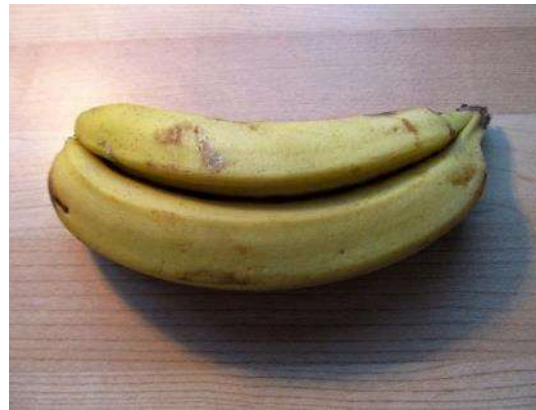
5

2

WARRIERS LOCK ST

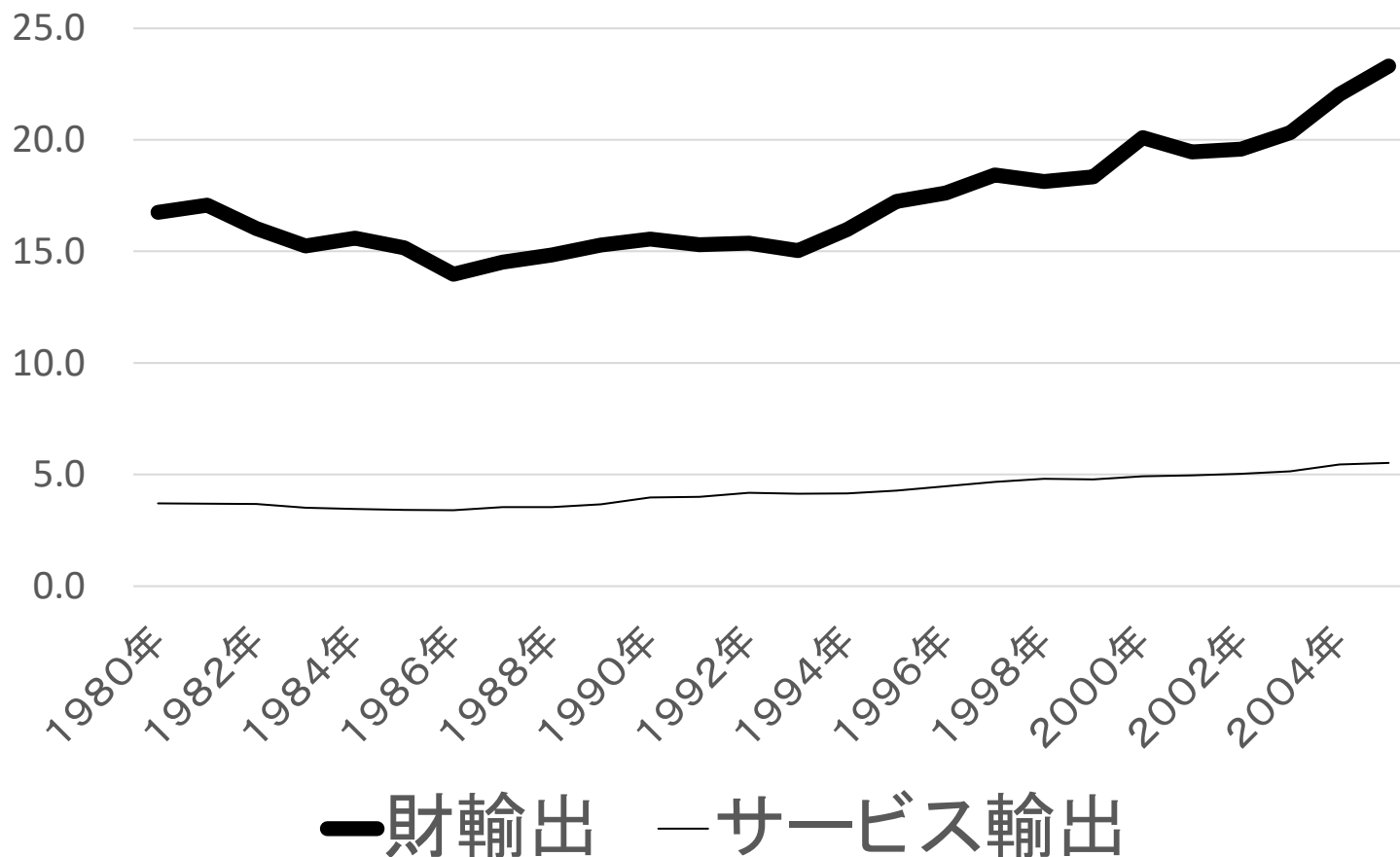
# 1 私たちの生活を支える貿易

・今自分の身の回りにあるもので、外国のものは？……



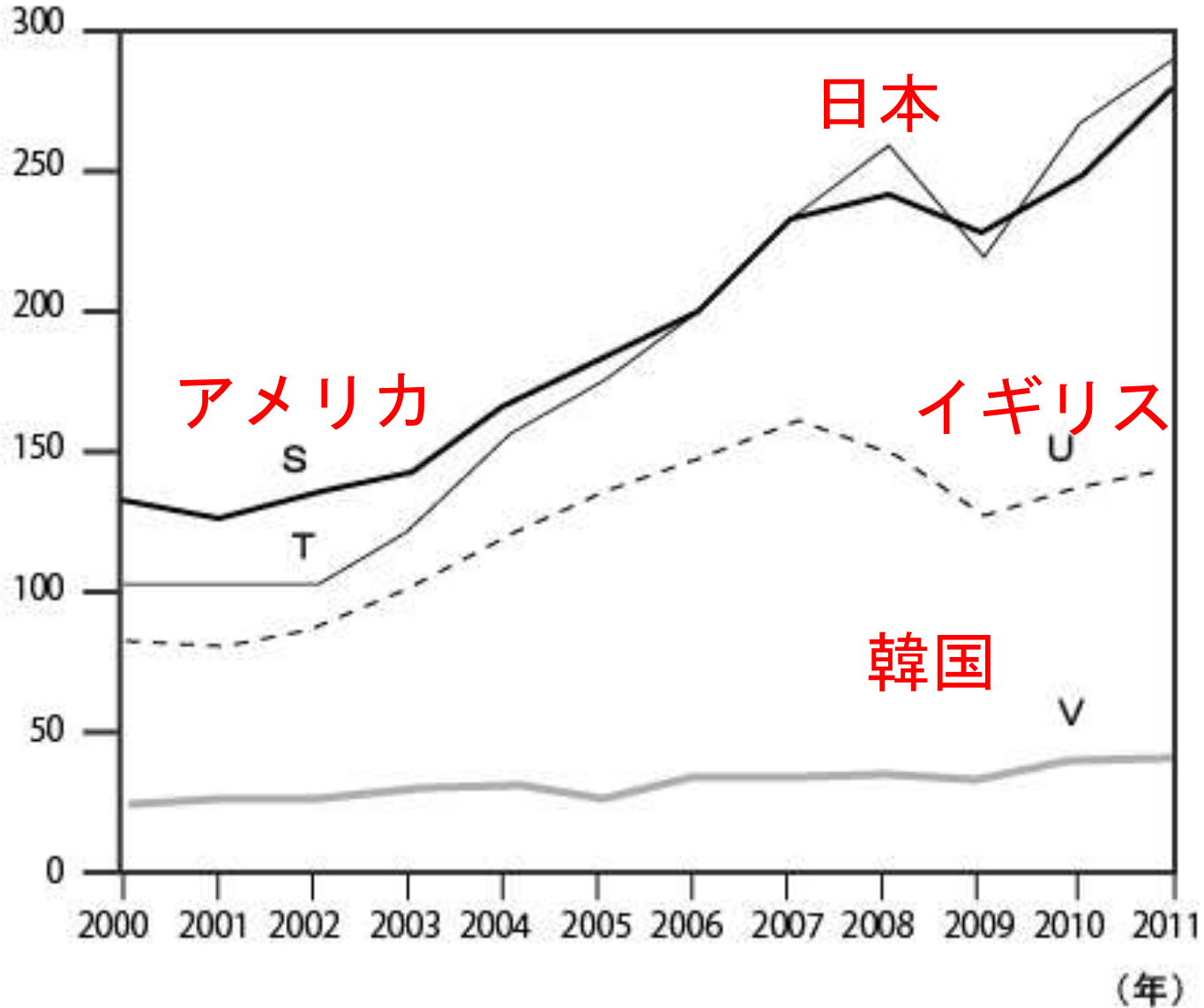
(1)【国際】化の進展で、貿易量が急増，形態も多様化

モノの貿易だけではなく、サービス 貿易も増大  
(株式投資，資本提携，旅行，輸送など)



- 2000年から2011年のアメリカ, イギリス, 韓国, 日本における特許使用料(他国に特許を売却した収益)

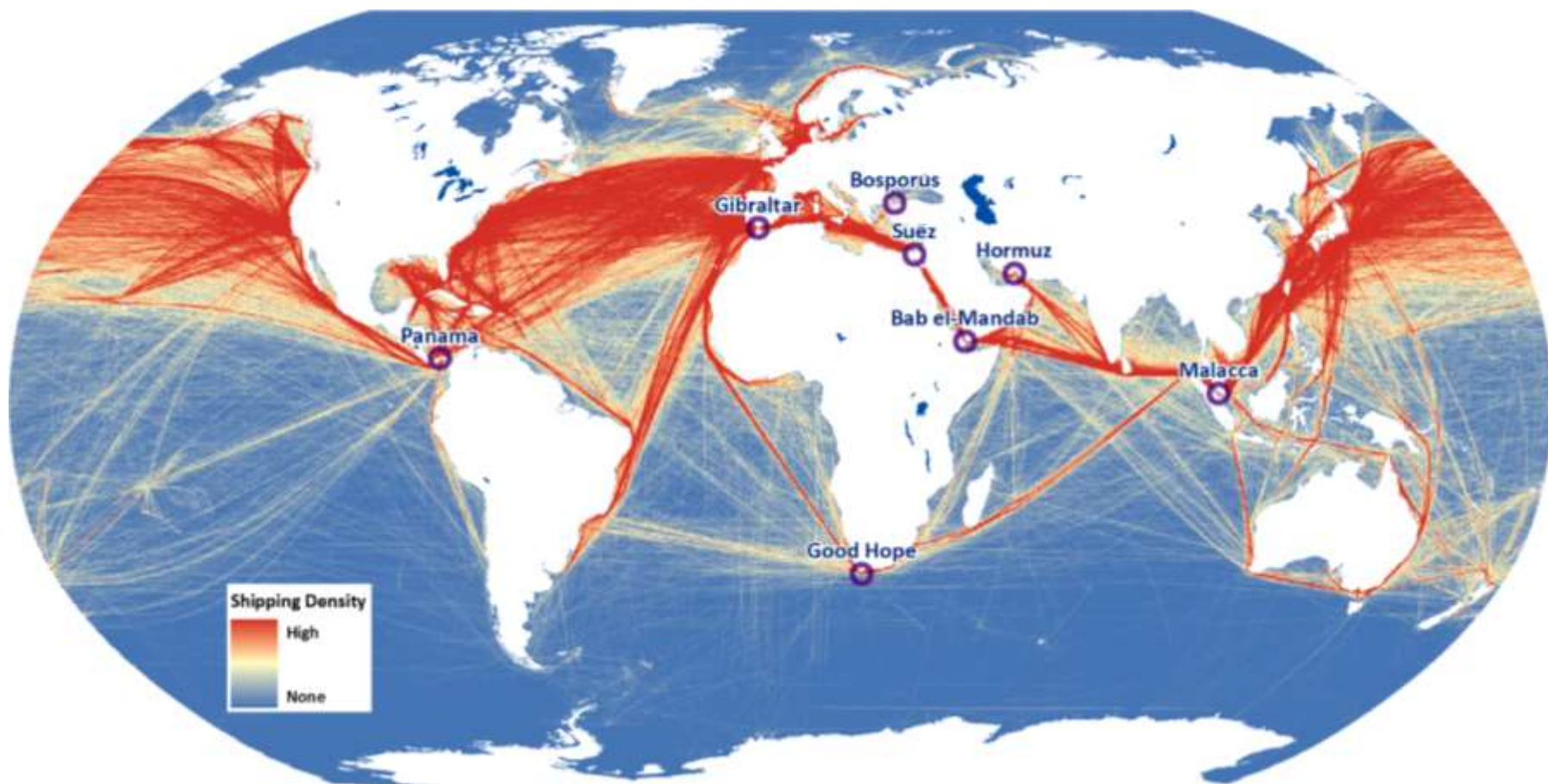
(億ドル)



## 2 現代世界の貿易の現状と課題

### (1) 貿易の盛んな地域

北アメリカ, ヨーロッパ, アジア



# 世界の貿易品の流れ



## 【貿易額(輸出額・輸入額計)の上位10か国】

- 1 中華人民共和国
- 2 アメリカ
- 3 ドイツ
- 4 日本
- 5 フランス
- 6 イギリス
- 7 イタリア
- 8 オランダ
- 9 大韓民国
- 10 ホンコン

## (2)輸出品目による地域性

- |                    |      |   |     |
|--------------------|------|---|-----|
| ①工業製品が中心 . . . .   | EU   | ・ | 日本  |
| ②工業製品+一次産品 . . . . | アメリカ | ・ | カナダ |

しかし利益率が高い

工業製品の内容が競合し、貿易摩擦 が起こりやすい

- |                    |             |   |          |
|--------------------|-------------|---|----------|
| ③一次産品が中心 . . . .   | アフリカ        | ・ | オーストラリア  |
| 利益率が低い上、<br>歴史的に搾取 | <u>先進国の</u> | ・ | ニュージーランド |

- ④一次産品+工業製品 . . . ASEAN, アジアNIEs, 中国

(輸出指向型の工業政策をとっている国)

近年搾取から解放、発展がはじまっている



### 3 貿易パターンの変化の歴史

(1) かつて **不平等から平等に向かう分業の歴史**

発展途上国と先進国の基本的な貿易パターン

**先進国主導の垂直分業**

※発展途上国が 原燃料 を輸出し、先進国が 工業製品 を製造して輸出する分業関係

(2) 戦後～

南北問題 が国際社会の課題となった

(豊かな先進国と貧しい発展途上国との格差)

### (3)1980年代以降～現在

東アジア・東南アジアは不平等から  
脱しつつある

先進国の多国籍企業が、豊富な労働力をもつ中国やタイなどのアジア諸国に工場移転し、工業製品を輸出するようになる



国と国がたがいに製造を得意とする工業製品を輸出しあう水平分業が世界中で進展

■70年代後半・・・新興工業地域(アジアNIEs)

韓国 台湾 ホンコン シンガポール

■80年代・・・東南アジア(ASEAN)

■90年代・・・中華人民共和国が工業発展

■近年・・・賃金上昇 →より安価な労働力のあるベトナムやバングラデシュなどへ工場が移動開始

## (4)現在の世界貿易の課題

しかし他の地域では・・・

石油輸出で潤う西アジアの産油国や工業化の進んだアジア諸国と、いまだに先進国主導の垂直貿易が中心の南アジア・アフリカ・中南米の国々との格差が問題化。 → 南南問題

### ※南南問題への対応

#### ①先進国政府の対応

政府開発援助(ODA)

※先進国政府が、発展途上国の経済開発や福祉の向上のために行う援助。資金を貸し付ける借款や、技術援助などがある

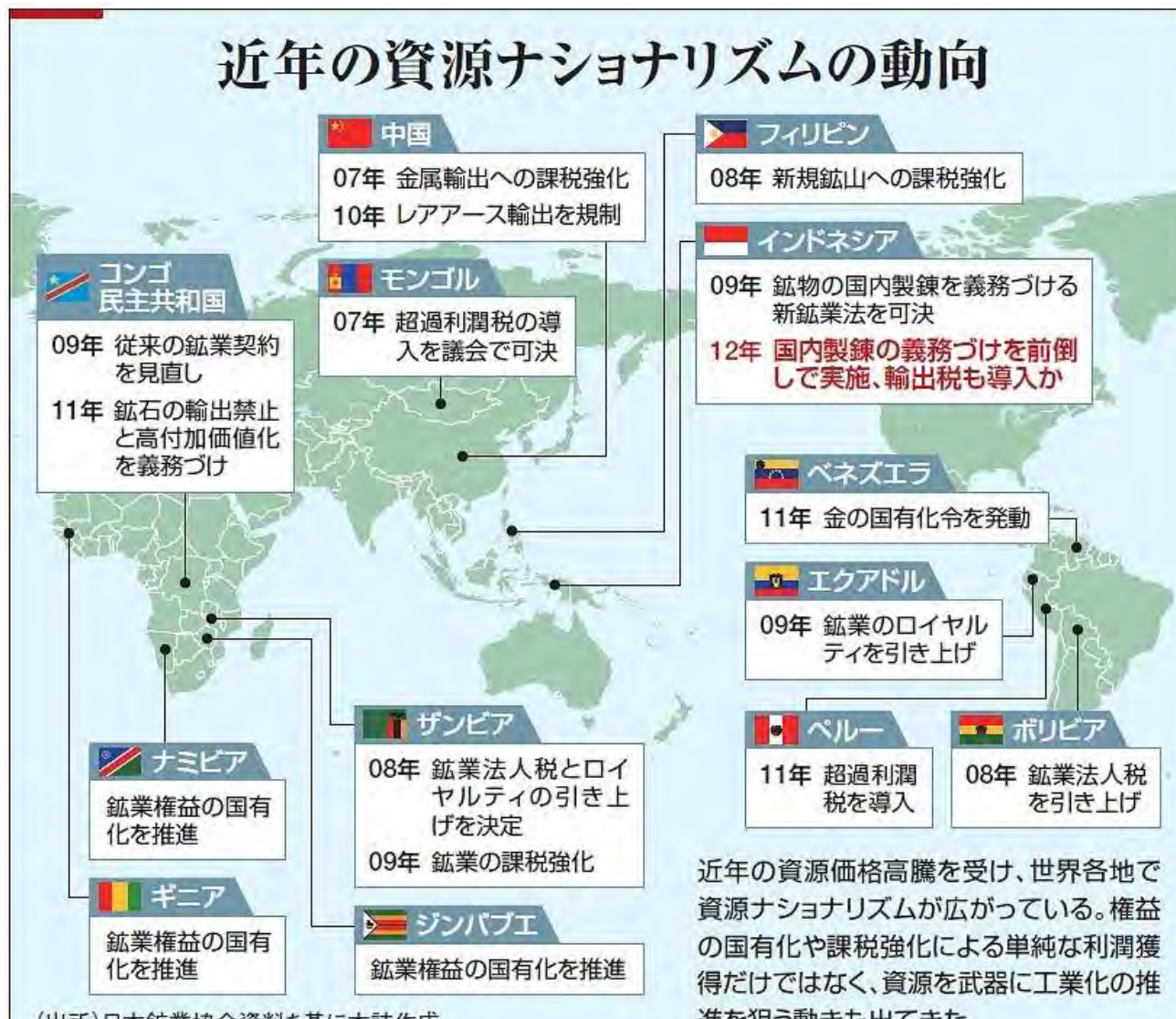
## ②民間NGO・企業の動き

適正な価格で農産物を購入し農民の生活向上を助ける【**フェアトレード**】(公正な貿易)の推進



### ③ 当事国政府の対応

【**資源ナショナリズム**】を追求し、自国鉱山などの国有化，資源輸出への課税強化

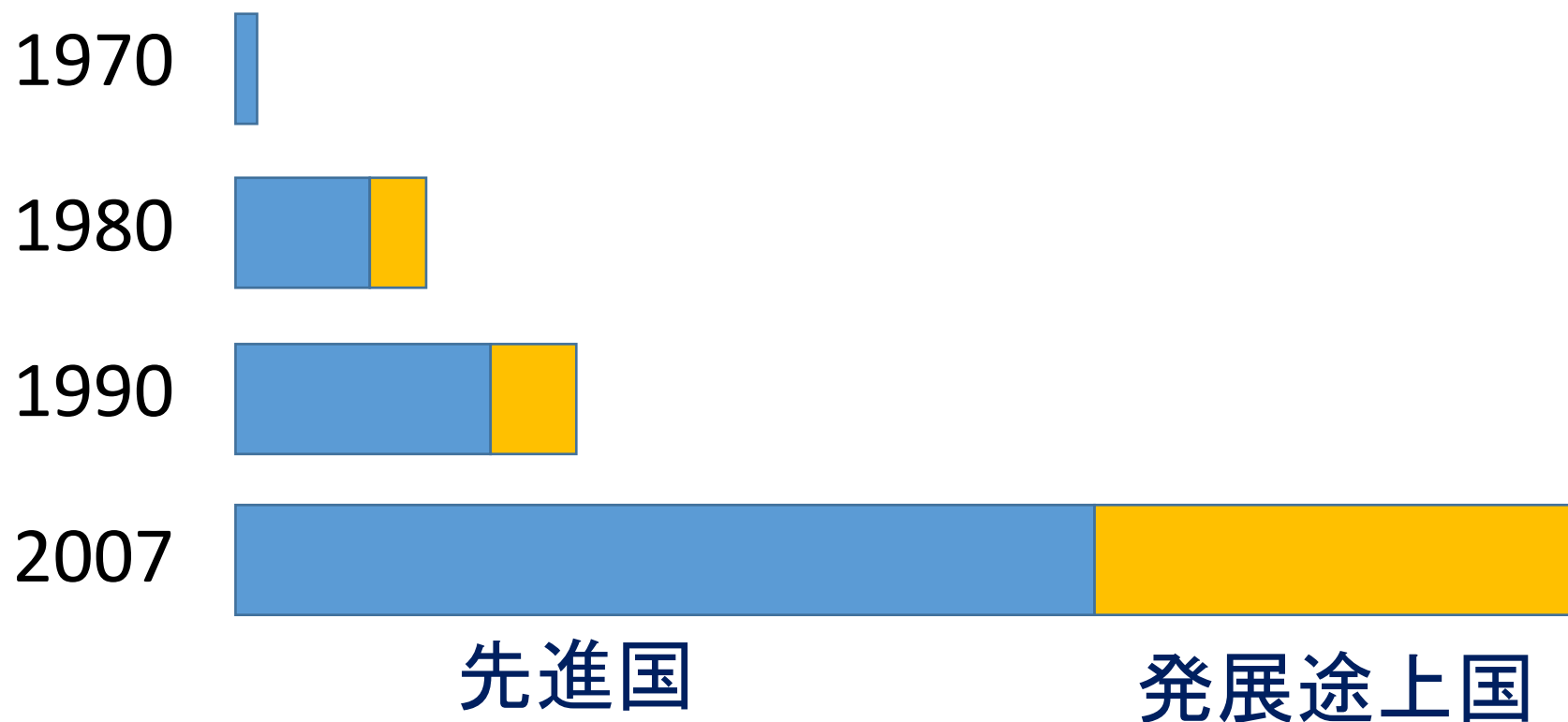


## 4 自由貿易進展の背景

### (1) 背景

■ 37年間で約40倍も増加

■ 1990年以降, 【 **資本主義** 】経済が成長し, 貿易額に占める **発展途上国** の割合が急拡大





## (2)自由貿易進展の歴史

### ■第二次世界大戦後

……各国が【 **GATT** 】(関税と貿易に関する一般協定)に加盟して【 **自由** 】貿易の推進

### ■1986-1993年

…多角的自由化交渉のウルグアイラウンドにより、  
若干の自由化が進む。

## ■ 1995年

ウルグアイラウンドで設立が決まっていた【WTO】  
(世界貿易機関: World Trade Organization)が発足(本部  
ジュネーブ)し、国際通商ルールの協議が進む

- ・IT・サービスや知的所有権も自由貿易の交渉対象  
になった

### 当初加盟していなかった主な国

- 【 **中国** 】 (2001年加盟)
- 【 **ロシア** 】 (2012年加盟)





### (3)自由化促進の弊害

他の国からの安価な製品流入することで、自国産業が打撃を受ける危険


#### ■WTOの対応

…【セーフガード】※(緊急輸入制限)やアンチダンピング(不当に安い輸入品に関税を課す)を認める。

日本初のセーフガード暫定措置は2001年の、中国からの輸入が急増したネギ、生シイタケ、および畳表(イグサ)の3品目について発動

## (4)現在の自由化交渉の停滞

■2001年～ ドーハラウンド (ドーハ開発アジェンダ)



EUとアメリカVS発展途上国・中国・インドの  
対立で議論がこう着状態



決裂

## 5 地域ごとの自由貿易協定設定の動き

(1) **FTA=自由貿易協定**(:Free Trade Agreement)

特定の二国間や複数国間で、物やサービスの流通もみならず、人材の移動や投資、知的財産権の保護など、幅広い経済関係強化をはかる取り決め。

### ■日本の場合

・・・【タイ】【ブルネイ】【インドネシア】【フィリピン】などと締結

## (2)世界各地に自由貿易地域(地域経済ブロック)が形成

- ヨーロッパ・・・EU
- 東南アジア・・・ASEAN自由貿易地域( AFTA )
- 北米3カ国・・・NAFTA(USMCA)
- 南米・・・・・・南米南部共同体( メルコスル )



### 危惧

- 世界が地域ブロックに分断
- 地域主義(リージョナリズム)の強化

(3)近年, 閉鎖的地域主義を克服するため世界中に自由貿易協定の複雑なネットワークが形成されつつある。

■ EU ……韓国, ラテンアメリカとの間に自由貿易協定を結ぶ

■ アメリカや日本などの国との【環太平洋パートナーシップ】  
…… TPP (環太平洋戦略的経済連携協定)

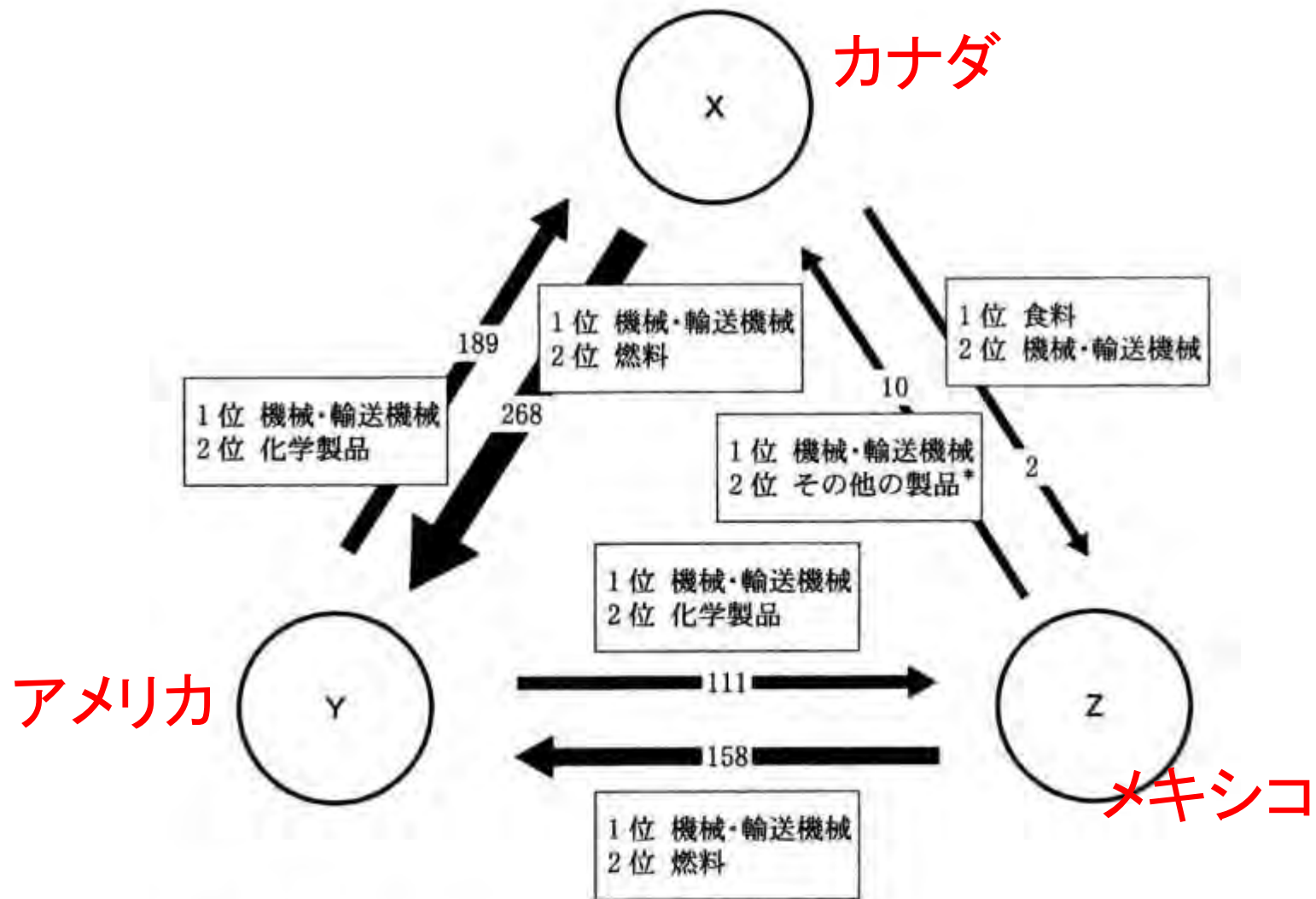
■ 日本・中国・韓国……ASEANとの(ASEAN + 3)

## 6 世界貿易のマクロスケールの特徴

(1) →を使った貿易関係図からの考察

・・・国力のある国同士の間の一→が太い。

# アメリカ, メキシコ, カナダの三点間



\*日用品など

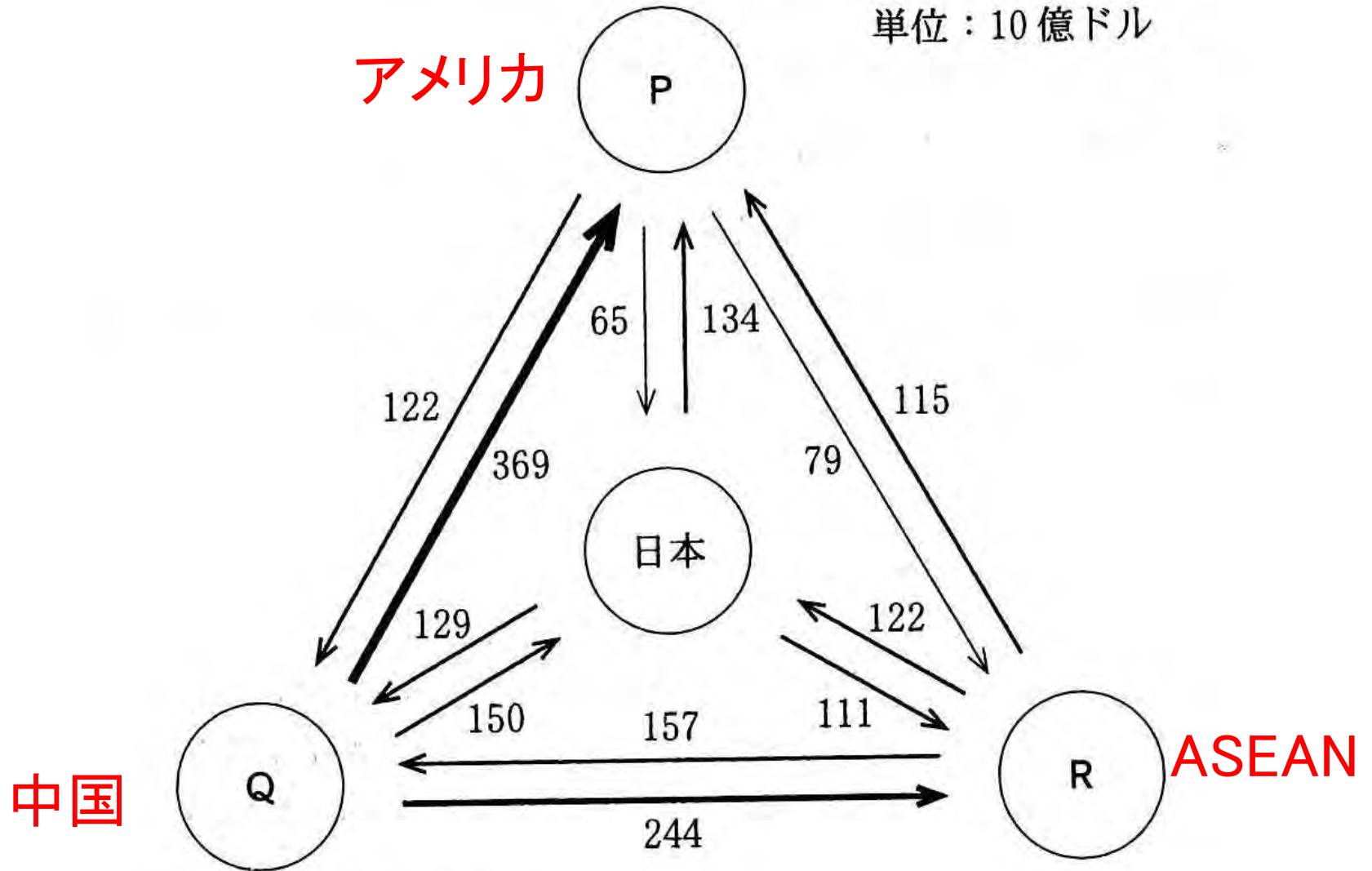
貿易額の単位は10億ドル。

統計年次は2004年。

WTOの資料により作成

# アメリカ,日本,ASEAN,中国の4点間

単位：10億ドル

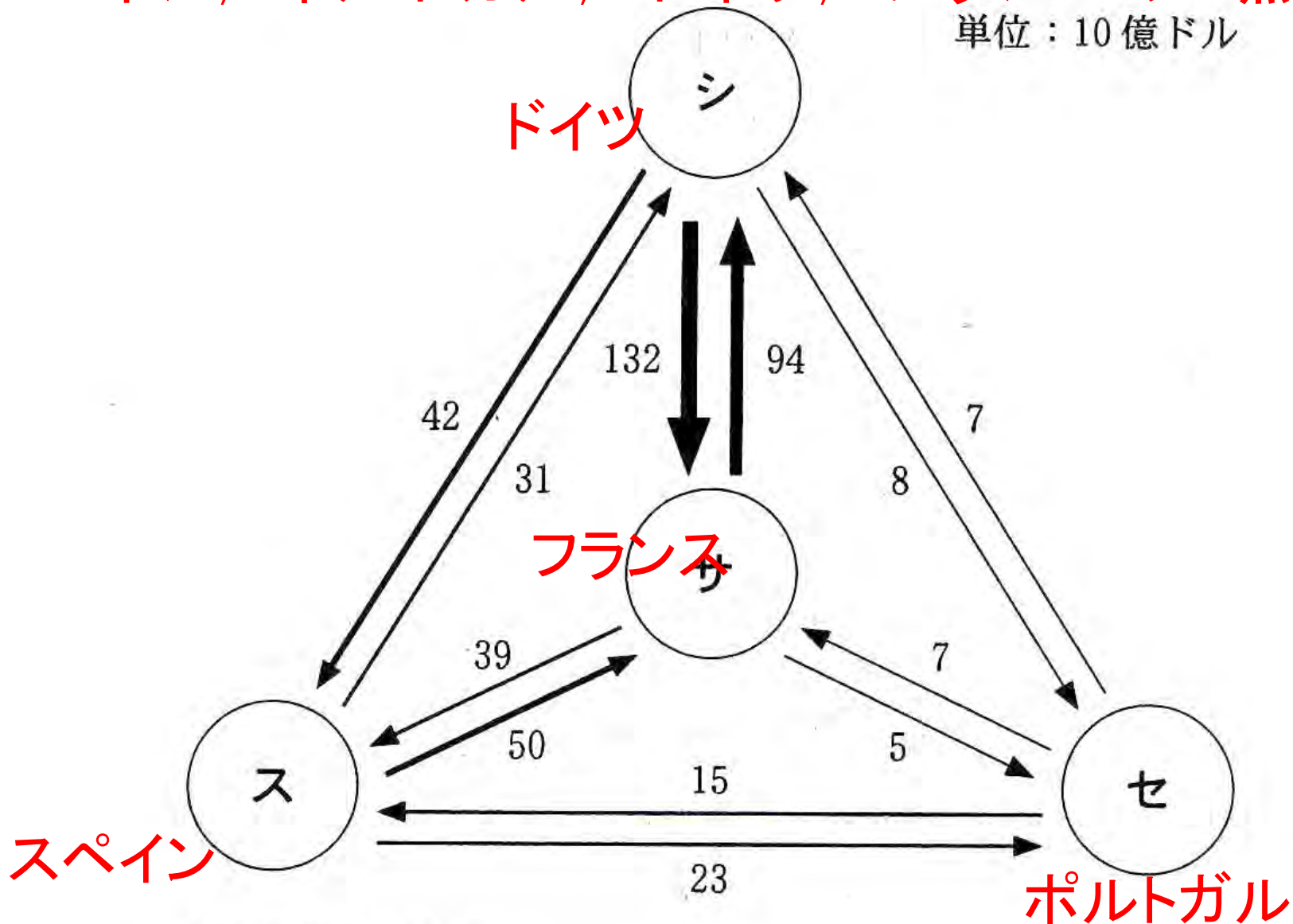


統計年次は2013年。  
ジェトロの資料により作成。



# スペイン, ポルトガル, ドイツ, フランスの4点間

単位: 10億ドル



統計年次は 2013 年。

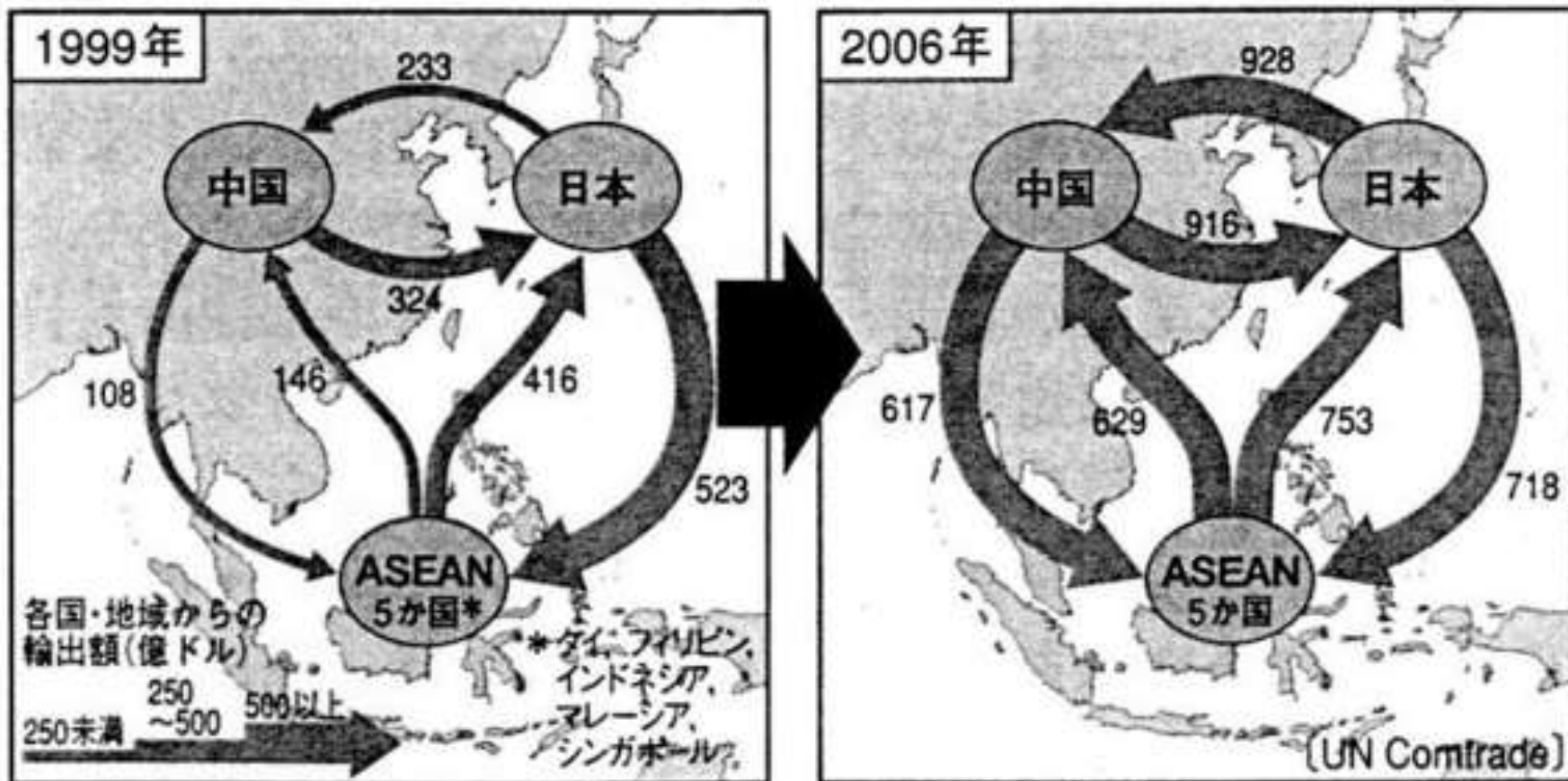
UN Comtrade により作成。

## (2) 今昔の貿易構造の考察

←が太くなったり,細くなっている所が特徴

中国中心とした貿易へ

日本・中国・ASEANの輸出総額の推移



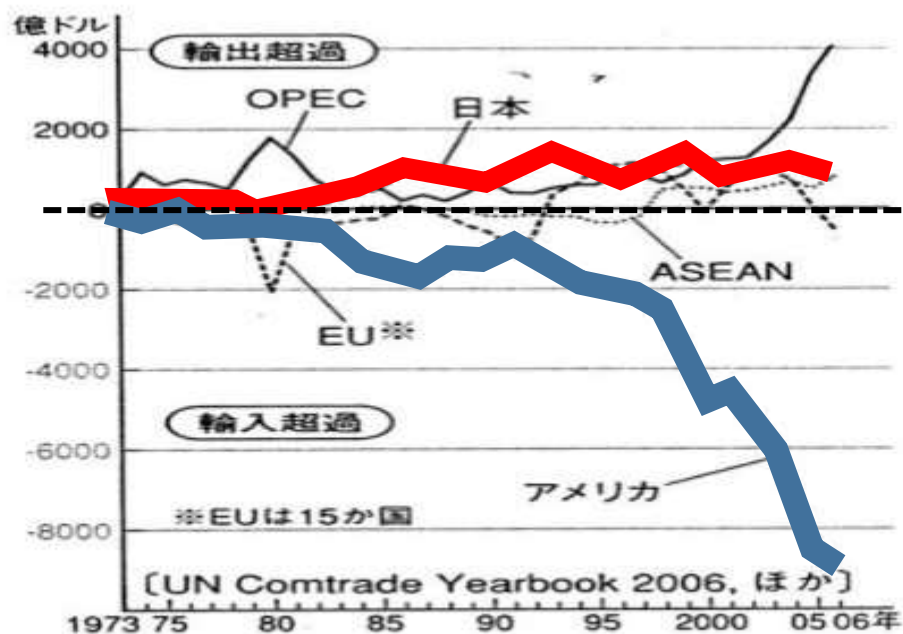
### (3) 主な国・地域の貿易収支の特徴

■ 日本……輸出入は 均衡 が取れている

(11年～赤字)

■ アメリカ……巨額の貿易【赤字】を抱えている

■ 中国……グラフにはないが、巨額の貿易黒字で世界の工場へと発展



おもな国・地域の輸出入超過額の推移